

Dコース

文化の香る坂道のまち
馬込まち歩き

寺社と文士の
居住跡を訪ねて

北野神社	0.1km 2分	富士講灯籠・ 庚申塔	0.3km 6分	馬込自然林	0.4km 7分	萬福寺	0.2km 4分	馬込小学校 旧時計台	0.1km 2分	長遠寺	0.1km 2分	馬込八幡神社	1.0km 20分	磨墨塚	0.4km 7分	大倉山公園 南馬込文化センター
------	-------------	---------------	-------------	-------	-------------	-----	-------------	---------------	-------------	-----	-------------	--------	--------------	-----	-------------	--------------------

[大倉山公園・南馬込文化センター]または[北野神社]へのアクセス

- ・JR大森駅より東急バス「大森駅【循環】馬込銀座」に乗り、大倉山公園・南馬込文化センターは「南馬込三丁目」下車徒歩5分
北野神社は「南馬込二丁目」下車徒歩5分
- ・JR大森駅より東急バス「荏原町駅入口」行きに乗り、大倉山公園・南馬込文化センターは「白田坂上」下車徒歩7分
北野神社は「馬込南台」下車徒歩7分

MAP C-2 p



北野神社の筆塚

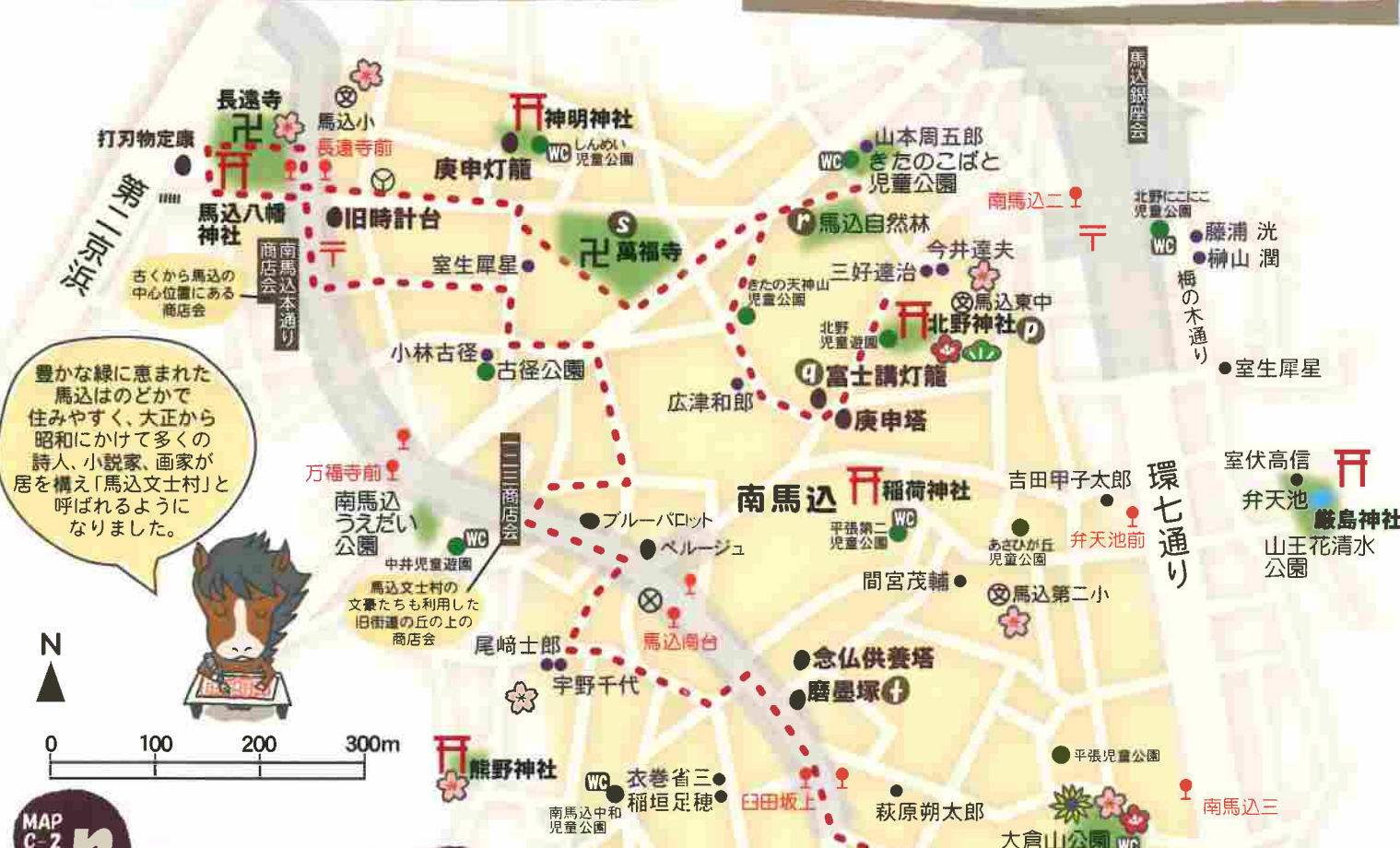
天文年間(1532~1554)馬込の住人が、京都の北野神社の分霊を祀ったという。境内には昭和12年(1937)に、金子赤太郎が建立した筆塚があり、江戸時代からの筆塚も左下に埋め込まれている。約300年前の庚申塔が三基ある。

MAP C-2 q



富士講灯籠

文政7年(1824)に、馬込村の富士講の人々が中心となって建てたもの。道しるべと常夜燈を兼ねていた。台石には講員の名が刻まれており、萬福寺も世話人として加わっている。富士登山には、近くの北野神社に参籠後出発した。



豊かな緑に恵まれた馬込はのどかで住みやすく、大正から昭和にかけて多くの詩人、小説家、画家が居を構え「馬込文士村」と呼ばれるようになりました。



MAP C-2 r



馬込自然林

東側の「馬込自然林区民緑地」と共に、地域に残された貴重な自然林として保存されてきた緑地。都市公園法の都市緑地として公開され、大田区民の貴重な財産として後世に引き継いでいくために緑の保存が行われている。

MAP C-2 s



萬福寺

曹洞宗の寺、梶原景時に縁があるといわれる。区指定文化財の阿彌陀三尊、馬具や木造梶原景時座像等(未公開)、板碑群、茅葺きの山門、日待供養塔、昭和61年(1986)に建立された名馬「磨墨」の像などがある。

MAP C-2 t



磨墨塚

源平の宇治川の合戦で活躍した梶原景季の愛馬「磨墨(するすみ)」は、この地の産であったとも、またこの地で死んだとも伝承されている。これにちなんで、明治33年(1900)に、馬込村の人々により碑が建てられた。